

第二回安全懇話会 開催のご案内

「ルール化とその徹底」以外の大事な安全アプローチとは？（Safety-II からのヒント）

主催：南川行動特性研究所

日時：2026 年 10 月 22 日（木）15：00～16：40

開催方法：Zoom

参加費：無料

プログラム：14：40 開場開始 14：55 までに入室よろしくお願いします。

15：00 講演開始

話題提供 60 分 休憩 10 分の間に Zoom の Chat に質問・意見を記載

質疑応答と意見交換 30 分（口頭質問も OK）

話題提供：ヒューマンエラー対策&仕事の工夫・コツ研究所

代表 楠神 健（クスカミ ケン） 博士（心理学）、（元 JR 東日本）

■ 今回のテーマ

本講演では、ヒューマンエラー対策の典型的なアプローチである「ルール化とその徹底」のみの限界と、それを補完・強化する第 2 のアプローチについて、カーネマンのシステム 1／システム 2 とホルナゲルの Safety-I／Safety-II をもとに考察します。まず、実作業を調べた結果、様々な状況でほぼすべての作業が事故なくうまくいっているのは、第 1 のアプローチ（ルール化とその徹底）に加え、現場の作業者が「うまくいくための工夫・コツ」を発揮している場合が多く、その典型例が「リスクを察知し、ひと手間かける」であることを示します。つぎに、両方のアプローチはともに重要ですが、それぞれの有効性は、どのような人がどのような作業を行うかによって異なる可能性があることについて述べます。

■ 主な話題

- ・カーネマンのシステム 1 とシステム 2 の概要（人間が持つ 2 つの作業方法）
- ・ホルナゲルの Safety-I と Safety-II の概要（安全マネジメントの 2 つの方法）
- ・第 1 のアプローチ（ルール化とその徹底）のみの限界
- ・第 2 のアプローチ（うまくいくための工夫・コツの活用）の有効性（事故の未然防止、現場力の向上）
- ・それぞれのアプローチが有効な人（非熟練者か熟練者か）、作業（基本作業か基本作業のバリエーションか）

■ 参加をお勧めしたい方

- ・安全マネジメントの担当者・責任者、経営者
- ・現場管理者、現場のリーダー層

・ヒューマンエラー防止に関心を持っておられる方

申込方法：この HP の「お申込みはこちら」ボタンをクリックして安全懇話会选择し、ご氏名など記入して送信ボタンを押してください。（電話・FAX・電子メールによるお申し込みはご遠慮ください）。

お申込みボタンでお申込みできない場合は下記にお申込みください。

お問い合わせ先：scej-minamigawa@ozzio.jp

締切り：10月16日（月）12時 先着順

募集人員：100人

受講 ZOOM の URL：10月19日 AM に発信します。

お申込みになっいて受信できなかった場合はすぐに主催者にメールで連絡してください。

配布 PDF も同じ時刻に送付します。

受講受付：

10月22日 14:40 から入室できます。14:55 までに入室お願いします。

映像切りで入室し、入室後ミュートにして下さい。Zoom URL の転送により

お申込み者名簿にない方は入室できませんので、ご了承ください。

振り返りシート：電子振り返りシートが受講者に10月22日夕方に発信されるので、1週間以内にご提出して下さるとありがたいです。